



大浦Lovers

長崎市立大浦小学校
校長 中尾 善蔵



祝！国土交通大臣賞受賞！

この度、私たちの愛するまち、東山手・南山手地区のまちづくりに取り組む「長崎居留地歴史まちづくり協議会」が、国土交通省の「まちづくりアワード構想・計画部門」において、なんと**国土交通大臣賞**を受賞するという、大変嬉しいニュースが飛び込んできました！これは、私たちのまちの素晴らしい取組が、全国に認められた証です。

長崎居留地歴史まちづくり協議会の皆様、この度は誠におめでとうございます！

この協議会は、かつて外国人の居留地として栄えたこの地区の歴史的な景観を守り、未来へとつなげていくために、地域の方々、民間事業者、そして居留地内の学校などが力を合わせ、2020年に設立されました。

斜面が多く、美しい洋館が立ち並ぶこのまちで、住民の皆さんの暮らしと、訪れる人々が歴史や文化を楽しめる観光の両方を大切にしまちづくり計画を進めてこられました。

例えば、「長崎居留地まつり」の開催や、WEBを通して地域の魅力を発信するなど、私たちのまちの素晴らしさを多くの人に伝える活動をされています。

また、若い人たちが空き店舗を活用して、地域の人々と観光客が交流できる案内所を開くなど、新しい動きも生まれています。

審査では、「先導性や論理性、実現性、発展性、将来性に優れ、全国のモデルとなる」と高く評価されていました。これは、地域の人々が何度も話し合いを重ね、地域外の若い力も取り込みながら、素晴らしい循環を生み出している結果と言えるでしょう。

この素晴らしいニュースは、本校の教育目標である「大浦を愛し 人とつながり 世界につながる」という言葉と深く結び付いています。

「大浦を愛し」

協議会の活動は、まさに私たちのふるさと大浦の歴史や文化を大切に、その魅力をさらに高めようとする取組です。児童も、この受賞を

きっかけに、私たちのまちの歴史や文化についてもっと深く学び、ふるさと大浦への愛を育んでいってほしいと願います。

「人とつながり」

この受賞は、地域住民の方々、企業、そして学校など、多くの人々が立場を越えて協力し合った結果です。様々な年代の人々が関わり、知恵を出し合うことで、より良いまちづくりが進んでいます。これからも、地域イベントへの積極的な参加などを通して、たくさんの人々とつながることの大切さを学んでいきましょう。

「世界につながる」

かつて外国人居留地として、海外との交流拠点であったこのまちは、歴史的にも世界と深いつながりがあります。今回の受賞は、その歴史的価値を再認識し、国内外からの観光客との新たな交流を生み出すことにもつながるでしょう。子供たちには、広い視野を持ち、世界へと目を向けるきっかけにしてほしいと思います。

この度の受賞は、私たち大浦小学校にとっても大きな誇りであり、喜びです。この快挙を地域全体で分かち合い、子供たちが自分の住むまちに誇りを持ち、将来のまちづくりにも積極的に関わっていかうとする心を育む機会としていきたいと思います。

保護者の皆様、地域の皆様におかれましても、引き続き本校の教育活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、この素晴らしいまち、大浦のさらなる発展のために、今後ともお力添えいただけますようお願い申し上げます。

